

生涯をかけて井伊家を守る

傑山宗俊

けつさんそうしゅん

昊天宗建

こうてんそうけん

HISTORY

井伊家の護衛役と
武芸師範を務める僧侶

井伊家の菩提寺「龍潭寺」の
僧侶、傑山宗俊と昊天宗建。
彼らは南渓瑞聞（龍潭寺2
世）の弟子であり、傑山は後
繼者として3世住職に、昊天
は5世住職になっている。当
時の龍潭寺は武家にも農民
にも親しまれており、みんな
の学校のような存在だった
とされる。

傑山は井伊家の護衛役をしな
がら直虎や直親、小野政次に
幼少期から武術を教えていた
のだろう。直虎が出家すると
傑山は兄弟子となり、僧として
の成長も見守り続けた。

井伊家伝記によると、傑山と
昊天は、1584年の小牧・
長久手の戦いで井伊直政に
仕え、活躍したことを機に武
名を知られるようになつた
と伝わる。傑山は強弓の名手
だったとされ、昊天は長刀の
達人で、「長刀昊天」と呼ばれ
ていたそうだ。

さらに、昊天の功績は武術だけ
ではない。井伊谷の龍潭寺

の住職を任せられるほか、妙心
寺の97世住職にもなり、彦根
に弘徳山龍潭寺を開山する
など、僧侶としても大成して
いる。

PLACE

龍潭寺

南渓瑞聞の志を継ぎ住職に

奈良時代に行基によって開創されたとされ、井伊家の菩提寺であつた龍潭寺。直盛の娘（直虎）が出来し「次郎法師」の名を与えられ修行をした場所である。

龍潭寺の住職であった南渓瑞聞は、直虎を“女城主”として立てるなど井伊家再興の陰の立役者として知られている。彼の一番弟子だった傑山もまた、その志を受け継ぎ、幼少時代から亡くなるまで直虎を守り続けた。直虎にとって南渓瑞聞や傑山、昊天をはじめとする僧侶たちの存在は非常に大きく、龍潭寺は彼女の成長や井伊家の歴史を語る上で欠かせない古刹なのだ。

DATA 浜松市北区引佐町井伊谷1989
TEL 053-542-0480 時/9:00~16:30
休/8月15日、12月22~27日 料/大人500円、小中学生200円
<http://www.ryotanji.com/>



本堂を中心に、西側の稻荷堂・開山堂、北側の井伊家御靈屋など、江戸時代に建てられた由緒ある建物内には貴重な文化財を多数所蔵しており、井伊家持領の品々も見ることができる。



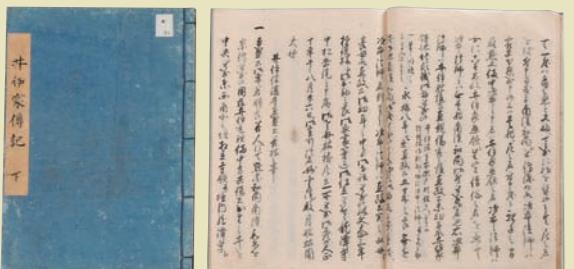
龍潭寺歴代住職の墓

龍潭寺境内には、井伊家墓所に加え、井伊家に関わってきた一族の墓がずらりと並んでいる。その一画に歴代住職の墓も現存する。龍潭寺開山 黙宗瑞淵の墓所の上には開山堂が建っている。

南渓瑞聞

文叔瑞郁

傑山宗俊



井伊家傳記

龍潭寺九世 祖山法忍（そさんほうにん）が、1731年（享保16年）に記した井伊家の歴史書。この書には、小牧・長久手の戦いにおける、傑山宗俊と昊天宗建の活躍が記されている。※浜松市文化遺産デジタルアーカイブで見られる。

御位牌

左から傑山宗俊・文叔瑞郁・昊天宗建の御位牌。開山堂に祀られている。



TRIVIA

豆知識

戦国時代のお寺や僧侶は、どんな役割だったの？

当時、寺は「仏教」を通じ、その周辺を1つの影響下・支配下に治めており、寺社勢力を持っていた。それは大名や地方権力者に勝るとも劣らない力で、領主でもみだりに侵入することはできない場所、アシール的存在であったと言われている。（織田信長の比叡山焼き討ちは、その概念を打ち碎いた事件として有名。）

また、教育が民衆に十分広まつていない時代だったので、寺はさまざまな理念や学問を身につける教育施設でもあった。知識を身につけていた僧侶は人々にとって先生であり、相談役でもあったのだ。

傑山や昊天はなぜ僧侶なのに強いの？

世が乱れると、支配地域を守るために独自の武力を持たなければならぬ。龍潭寺の僧も僧兵として訓練をしていたのだろう。またこの時代の武家では長男以外は出家し、跡取りがいなくなると、武家に戻される場合がある。その時のために僧侶であっても鍛えておかなければならなかつたという。

「傑山」は「けつさん」と読む！

「けつさん」はドラマの演出上の呼び方で、「傑山」は「けつさん」と代々呼ばれている。



傑山と昊天って
こんな人

小牧長久手の
戦いで
井伊直政に
付き従う

井伊家の
護衛役

龍潭寺の
僧侶

